

fallibility

fallibility

洗濯のできない女
金を返さない女
飴をなめ続ける女

作
泉
寛
介

舞台上に小さなテーブルがある。テーブルの上には空のグラスとメーカー牧場のおいしい水と書いたペットボトルの水がある。
洗濯のできない女がテーブルの前に座っている。洗濯女、ゆつくりとグラスに水を注いでいく。

洗濯女　あ。…ああ、あああ。あふれる。あふれてしまっ。これ、どうしたらいいの？うわー。

洗濯女、まわりをうかがいながら腰をあげようとする。

洗濯女　ああ！みんなが、こつちを、見ている！気がする。見ている？…見ている！は、は、は、恥ずかしい…

洗濯女、注ぐ手を止めようとしたり、腰をあげようとしたりするが、どちらもできない。

洗濯女　ああ！そう言っている間にもこんなに！こんなに！あふれ！あふれ！助けろー！誰か！助けてー！ダム！プリーズ！ダム！ああ！ダム！プリーズ！プリーズ！ダメだああああ！ああ。…あああ。

水がコップからあふれる。ペットボトルの水を置き、泣く洗濯女。失禁している。飴をなめ続ける女が出てくる。飴女は棒付きの飴玉をなめている。

飴女　くすくすくすくす。くすくすくすくす。

洗濯女、泣きながらズボンを脱ぎ、舞台奥へ。脱いだズボンを洗おうとする。飴女、セリフを言いながらコップに近づく。

洗濯女　しくしくしくしく。しくしくしくしく。

洗濯女、ズボンを洗おうとするが、洗えず痲癩を起こす。飴女、コップの水を飲もうとする。洗濯女、それに気づき、ズボンで飴女をたたく。

飴女　痛し！

洗濯女、コップの水を奪い、飲む。

洗濯女

うまし。ギザうまゆす！…私は今、我慢をしております。猛烈に我慢をしております。このままでは膀胱炎になるかもしれません。しかし私は命を賭してでもここにいます！それが決意であり祝福であるのです！乾杯！…ありがたいございます。しかしご心配なく。もし、限界が来たときには、お花を摘みに行くこともあるうかと思えます。その際は、皆様、どうか私のことは気にせず。ご歓談くださいませ。そして、再入場の際には暖かい拍手でお迎えください。乾杯！…ありがとうございます。それではメインイベント！

飴女

何これ。

洗濯女

…二次会の余興。

飴女

興が過ぎるんじゃない？

洗濯女

いいのよ。過ぎたるは尚、及ばざるがごとよ。

飴女

…え？何。

洗濯女

選択を間違えました。

飴女

まだできないの？お洗濯。

洗濯女

いや、そうじゃなくて言葉の。

飴女

簡単じゃん。ボタンピツて押すだけじゃん。ボタンピツ。

洗濯女

…湯たんぽ。

飴女

ノー。ボタンピ。

洗濯女

…湯、ボ、タン、ぽ、ピ？ボタンピー！

飴女

イエス。

洗濯女

キリストかよ。

飴女

汝、0点。

洗濯女

今何時？

飴女

ちょうど2時48分。

洗濯女

もうそんな時間。ちょうどじゃねーよ。

洗濯女、
部屋を整理しだす。

飴女

何か用があるのか？0点の姉よ。

洗濯女

来る！のよ。

飴女

誰？魔太郎？

洗濯女

ウラミハラサデオクベキカ。

飴女

何言ってるの？

洗濯女

あんた知らないの？

飴女

何をよ。

洗濯女 積年の恨みよ。借りを返してもらおうのよ。

飴女 ほほう。聞こうか。

洗濯女 聞くも涙。語るも涙。酒と泪と男と女と子供と胎児とおととととととと。

飴女 と？

洗濯女 自分のおなかを見る。

洗濯女 と、と、と、えーと、トイレ！

洗濯女 トイレに行く。

飴女 水に流すということか？いや、逆か。流せないのか。

飴女、ペットボトルの水を手に取り、森田童子の「ぼくたちの失敗」を歌う。

飴女 メーメー牧場のおいしい水。どこだよ？…羊の水って。

飴女、水を飲む。

飴女 …ぐ、ぐうう、ぐわああああ。…おいしい。おいしい水がおいしい！

洗濯女、トイレから出てくる。

洗濯女 名水よ。

飴女 おかえり。姉よ。

洗濯女 うむ。妹よ。勝手に飲むな。…それ、高いのよ！

飴女 鬱だけに喉が渴く。

洗濯女 関係ねー。飴なめすぎ。

洗濯女、また部屋を片付ける。(部屋の衣服を片付けようとするが衣服を移動させただけで、片付ける前とほぼ同じ配置になる。)

飴女 起きれんからね。こういう日は。飴なめんど。

洗濯女 …なめるなよ！

飴女 何を。

洗濯女 人生！

飴女 甘い果実をなめているのではない。よだれを流しているのです。

洗濯女 甘いよだれが出るのに夢中か。このド変態！捨てられマニア。ポイ捨て禁止！

飴女 うるへー！女は誰しも夢の中。よだれが空中から地面に滴り落ちるのを見て

夢中。

洗濯女 ムチュー。

飴女 命名。汚物。

洗濯女 オブチュー。

飴女 お仏壇に…。

洗濯女 ご飯まだあげてません。米のとき方すらわかりません。

飴女 やつてりやよかった公文式。シヨック。シヨツカー。シヨツキン、食器は？

洗濯女 洗いものは、失敗した。

飴女 またか。なぜ同じ過ちを繰り返す。

洗濯女 洗濯物は、

飴女 おい。

洗濯女 何。

飴女 もどってる。もどってる。

洗濯女、 部屋を見渡す。さつきと微妙に置き場所の違うものを指さして。

洗濯女 こことここの角度、違う。

飴女 どうして掃除すらできないのか。

洗濯女 洗濯物は、…焼き切れた。

飴女 なぜ焼ける。

洗濯女 やけになってやった。むしろくしゃしていた。社会が悪い。

飴女 供述するな。洗い・すすぎ・脱水のボタンを覚えろ。言い訳はもうたくさん。

洗濯女 たくさんあるから選べないのよ。選んでももし間違ったらどうしようかとほ

ほを濡らすしずくによってお前もこの手で洗濯してやろうか！

飴女 普通に洗濯機使えよ。

飴女、 水を飲もうとする。選択女、 飴女の手をたたく。

洗濯女 普通ができたらいいですか？その場が収まればいいですか？

洗濯女、 水を飲もうとする飴女の手を止める。

洗濯女 お前のよだれが止まればいいですか？

飴女 無理だ！無理だ無理だ無理だ！無駄だ無駄だ無駄だ！ダメだダメだダメだ！
洗濯女 ダムだダムだダムだ！泪のダムだ！毎度毎度ダム人間だ！

激しい音楽が流れる。二人の喧嘩。

二人 決壊！決壊！決壊！このダムはダメだ！結界ー！

二人 （一方のセリフ中に他方は、決壊、決壊、決壊…と言い続ける）

洗濯女 すぐにあふれてしまうのです。常に押すボタンを誤って。ノーモアダム！フ
リーダム！

飴女 ダメなオスには謝って。謝罪して。だけれどすぐに殴られて。オーマイア
ム！

洗濯女 掃除ができない。整理がない。

飴女 きれいにできない。

洗濯女 きれいはきれい。

飴女 汚いは汚い。

二人 間違っている。日常が圧倒的に間違っている！

飴女 朝起きれない。自分の生活と体の循環をまわすことすらままなりません。

洗濯女 一回りも回らせることができない。

二人 つまりは！洗濯が！できません！もうダムだ！ガンガンにダム人間だ！早く
ダム人間になりたいーい！いや、なりたくない！

風の音。音楽が変わる（妖怪人間↓ガンダム）が流れる。

二人、だらけた姿勢で深夜のアニメを見て笑っている動作。

曲の途中で金を返さない女が出てくる。

金女 それでいいのですか！

二人 え？

金女 それで！いいのですか！

二人 ええ？

金女 あなたたちは！そのままいいのですかと！聞いておるのだよ！このバカ女
どもー！

音楽が止まる。金女、水を飲もうとする。洗濯女に止められる。

洗濯女 金を返せ。

金女、土下座をする。立ち尽くす洗濯女。

洗濯女　金を返せ。

金女、土下座の角度を少し変える。

洗濯女　ザ・許さぬ。

金女、土下座しながら飴女の方を向く。

飴女　なんであたし。

洗濯女　犯人に告ぐ！そんなのいいから早くお金を返さない！お母さんは泣いてるぞ！

金女　違うんです。

洗濯女　何が違う。

金女　この姿勢を仮に土下座と名付けましょう。

飴女　土下座じゃん。

金女　土下座と言いつたえられているこの姿勢はその謝罪の意味ではないのです。

飴女　いや、だから土下座じゃん、それ。

洗濯女　いや待て！

飴女　え？

洗濯女　聞こうか。

金女　わあ。ありがとうございます！この土下座的なものは、この土下座的なもの
の真意はこういうことです！

洗濯女　来い！ほりこんでこい！

金女　お金を！貸して下さい！

飴女　：はあ？あんたさ、お金返して…

洗濯女　いや待て！

飴女　え？

洗濯女　やっちまえ！

金女　わー！

洗濯女、金女に襲いかかる。

金女　ちよちよちよちよち待ちー！

金女、逃げながら、かばんの中から文集を出す。

金女　これを公表されてもいいのか!?

洗濯女　そ、それは!?

飴女　な、なにー!? あ、あれは、姉が小学校のときの文集ではないかー!?

金女　その通し!

洗濯女　それを、どうするつもりだ…?

飴女　だめだ! 姉さん! あの文集は、あの文集は姉さんの血塗られた過去が載っている…!

洗濯女　くく、かかか。かかかか。カーラカラカラ! カーラカラカラ!

勇者の凱旋のようなクラシック音楽が流れる。

金女　な、何を笑っている!? ていうか笑っているのか? どっちなんだ!?

洗濯女　私は以前の私ではない。

金女　何?

洗濯女　死んだのだよ。今の私は、そうさな、ニュー…いやさ、ネオ! 私だ!

金女　ネオ私だと!? え? 何それ? 何が違うの?

飴女　愚かなるおなごよ。このネオ姉さんはな! すでにその文集程度のことは克服

しておるのだよ! 生まれ変わったのだ。小学生のおもらしなど他愛もなきこと。もはやこのブランニュー姉さんに至っては友人の結婚式二次会の余興にて披露する芸にまで昇華させたというこずら!

金女　ず…ずら!?

洗濯女　ブランニュー…

洗濯女、金女に手をかざす。

金女　…や、やめるやめるんだー!

飴女　いけー!

洗濯女　…私。

爆発音↓赤子の声。金女、吹き飛ぶように後転する。土下座の姿勢。

洗濯女　人間とははかないものよな、妹よ。

飴女　そうですわね。ねえさ…ハッ!?

ヴィバルディの「四季〜冬〜」が流れる。

洗濯女 どうした？

飴女 今、奴が動いたような…？いや、きつと気のせいであ、へへ。

金女 産まれたぜ。

飴女 …な、なんだと？アレを食らってまだ生きているとは…。

金女 くくく、ここに、クオークオクオクオ！クオークオクオクオ！

飴女 何がおかしい！

金女 偶然にも今まさに産まれちゃった。おたく、この土下座、見たことないんですかねえ？

飴女 ハア？そんなどげ、ぎ…まさか！そ、その土下座はあ…！！？

金女 苦節30年、幼少期より昼夜にかけ土下座を打ち続け、山に籠もり、春夏秋冬一心に土下座し続け、石を割り熊をも退かせた土下座。その先にあるものは？地球に垂直落下する隕石すら角度を変えたといわれる土下座。今まさに完成した。もう一度言う。この土下座、見たことないのかいッ…！！

飴女 そ、それはー！？

金女 宇宙・土下座…！！

爆発音。スロー。飴女吹き飛ばされて後転する。洗濯女、後ずさる。

金女 お金を貸して下さい！

音楽止まる。スロー解除。

洗濯女 無理。

金女 …私、どげんしたらよかー！

金女、去る。

飴女 まさかの博多弁。

飴女、ケータイを触りながら、飴をなめ始める。洗濯女、出ていく。
飴を十分に舐めつくしたところで、口から離し、目をつむる。少しして、飴をかじって、細かい破片の一つを口から一度出し、水で飲み込む。飲みきったらあぐらをかき、またケータイをいじりだす。
洗濯女、入ってくる。

洗濯女 ……この子は！

洗濯女、 飴女を叱ろうとする。 飴女逃げる。

洗濯女 なぜ悟らぬ？

飴女 なぜ悟る？なぜ悟ろうとする？

洗濯女 ……仏教徒ですから！

飴女 仏教徒だったら何をしても許されるのか！

洗濯女 ……不器用ですから。

飴女 似てねー。完全に不器用だな。

洗濯女 そうそう私不器用ですねん。っておい！大正解だバカヤロー。

飴女 正解した方には一つ忠告してやろう。

洗濯女 ラッキー。

飴女 あたしは不特定多数に対してリスクを分散している。だが、姉よ。貴様はリ

洗濯女 そんなことないもん！

飴女 はい、かわいくない。

洗濯女 かわいくないもん！

飴女 はい、開き直り超ダサイ。もん！超うざい。

洗濯女 超うざくないもん、ぬ！

飴女 そうやって素直になれない系キャラが染みつきまくって同化してるからどう

洗濯女 かしてるんだよ。んぬ！

洗濯女 んぬぬ！よう言うた。言いたいことも言えないこんな世の中で。

飴女 ポイズン吐いていい？言っていい？毒。よく二次会とか行けんね？

洗濯女 行くよ。行くでしょ。二次の会だよ？レインボー。

飴女 灰色の脳みそだな。くやくねーのか！女として。

洗濯女 ちよっと待て。それを言うのなら、招待状が来た時点でおかしくねいかい？

飴女 カモフラでしょ。

洗濯女 それでも来たならば果たし状とお見受けいたす。

飴女 だからあの余興？

洗濯女 ああ、あれまだ中盤。メインイベントは、我慢できなくなった私が新郎の前

飴女 で赤い塊を降らす！

洗濯女 ブラック。ドスブラック。度を過ぎている。ブラックが。真っ黒。

飴女 儀式がないと汚れが落ちないのよ。だてにブラ3日洗ってないわよ！

洗濯女 洗濯できないにも程がある。いや、できているかもしれないが、

飴女

洗濯女

飴女

二人

間違っている。

二人、およげタイ焼きくんの一部をリピート輪唱しながら、身体表現。
 飴女、出会い系サイトに登録↓会う↓ホテルへ行く↓順調な様子↓メール来なくて情緒不安定になる↓薬を飲み寝込む↓出会い系サイトを見る
 洗濯女、洗濯物をたたんでほし、たたんでほしじよじよに追い詰められていく。

二人の身体表現中に金女、出てくる。

金女

えーと、あのーあのすねー、最初はなんか、ヤフーみたいな大手のところで、まあ大丈夫かなとか思って、それで試しにやってみてそしたら結構大勝ちしちゃって今月カードの支払いやばいなとか思ってたときにコインがなくなってきた超助かって1週間くらいずっとやってたらまた勝って、調子乗って車ローンで買って乗ってでもポイント余ってて消化できてなくても、つたいないからそのポイント分だけやったら少し負けちゃって、でも負けたって言ってもボーナス一回でハマリ抜けたらジャックポットになるから余裕だぜとか言いながらカードでがんがお金おろしたらやっとなジャックポットで50万くらい大勝ちしてやったー借金あと200万くらいに減ったーとか言って給料1ヶ月6万ずつ減っていくのつらいけど親に言ったら殺されるし彼氏には絶対に言えないからがまんがまんかと思ってたら知らない間にまた負けちゃった。カード二枚目も突入して結局、審査なしで融資してくれるところ最近増えたからネットで検索して調べておろして勝とうとしてるけどなかなか少しづつしか勝てなくて本格的に夜の仕事でもしようかと思っただけで彼氏にばれたら死ぬしかないからダメで月末が怖くなって支払いがどんどん大きくなってどこにどれだけ払ったらいいかも手帳のメモ欄のどこにつけてたんだけど、500万越えたくらいからああ、もう死んじやいたいなだって今絶望してるもの、とか思いながら会社でめまい起こして吐いて帰りの電車で魔法のようなものを見つけた。一本化。すぐさまその弁護士さんに電話して超緊張して、ああこうして私は破産人生を送るのだからかと思って思ったより古びた事務所でちよつとこわもての人がおおかつたからもしかして本当にやばいところに来ちゃったんじゃないかと思っただら奥から先生が出てきて優しくかった。すぐ丁寧な教えてくれた。どうやら私の返し方は利子ばかり払って元本ぜんぜん減らないやり方だったらしい。借金のかたに奴隷にされて風呂に静められる覚悟までしてた私はその晩、彼氏に報告した。そしたら彼は「お前、何でそんな大事なことを早く言わなかったんだよ」って頭たたかれた。もちろん私はそのとき号泣してた。その言葉を言う前もそのあとも。そ

洗濯女

れから彼と一緒に住むことにして節約ライフをしてて確かにピンボーライフ
なんだけど私には超楽しくって、このまま結婚できるんじゃないかとか考え
て借金もようやく300万切ったところあたりでむらむらとして今日ぐらい
いいか借金もだいぶ減ったしとお金をコインに変換してものすごく負けてし
まった。でも彼氏に言い出せないから取り返そうとまた負けて親に結婚する
かもって言って100万借りたけどまた返せなくなって1本化したら彼にば
れるし、どうしようもなくなって（三人で）助けてください助けてください
助けてください助けてくださいどこで間違えているのでしょうか零れ落ちた
瞬間がわかりませんし海に溶けていくこともできません。終わらないことは
ありませんが、晴れの日が永遠に続くことはありません。だとすればどこに
行けばいいですか。何かを待っていて少しづつ削られてやせ細って
なくなっていくのもよいのではないのでしょうか。（一人で）とかふらふら夜歩
いてたらここまで着ました。それでは聞いてください。私で、お金、貸して
ください。

無理。

金女、水を飲もうとする。洗濯女、それを遮る。

金女

どげんかせんといかん！

金女、走ってはける。

飴女

大きいお姉さま。大きいお姉さま。

洗濯女

どうしました、中くらいの妹。

飴女

あの方、走っていかれましたね。

洗濯女

走っていかれましたね。

飴女

はい。きつと間違った方向に。

洗濯女

中の下の妹、祈りましょう。

飴女

はい。大きいたんこぶのようなお姉さま。

二人

世界人類が愛想笑いばかりしますように。

飴女、水を飲もうとして洗濯女に遮られる。

飴女

大きいお兄様。

洗濯女

違うわ。

飴女

白塗りのお殿様。

洗濯女

バカ殿ね。違うのよ。

飴女

スリジャヤワルダ、ナプラコッテ。

洗濯女

うるせえ。(殴る)

飴女

コロンボ！(気絶する)

洗濯女

偶然にもスリランカの首都ね。

飴女

私、変に落ちたの。いや、恋に落ちたの。

洗濯女

やめなさい。恋も変も。

飴女、水を飲もうとして遮られる。

飴女

痛くても走り続けるそれが大事だろうが！

洗濯女

ドーピングすんなって言ってるのよ！

飴女

菓なしじゃ笑えないの！笑えないのよクスリとも！

洗濯女

うまい。

飴女

でしょ？

洗濯女

棒。

飴女

棒かよ！

洗濯女

うまい棒ばかり食べるから骨と頭が弱くなるのよ。

飴女

あたしは彼氏ウムを摂取しないと生きていけないの。

洗濯女

騙されてるわ。

飴女

騙されてない。

洗濯女

間違ってるわ。

飴女

間違ってるわ。

洗濯女

裏切られるわ。

飴女

裏切られない。

洗濯女

捨てられる。

飴女

捨てられない。

洗濯女

浪費されるわ。

飴女

浪費されない。

洗濯女

汚されるわ。

飴女

汚されてもいい。洗濯すれば。

洗濯女

…横腹が痛い。

洗濯女、トイレに行く。飴女、目の前の無防備な水を飲むか躊躇する。

飴女

たとえ間違っただけでも進むしかないのよ。

笑い声。

洗濯女 やっぱりだめよ。やっぱりダムよ。ダムなのよ。

金女 横漏れ防止なんつって。

笑い声。

金女 大丈夫。今回はあたしがずっと横に付いてるから。

洗濯女 サイドギャザー！なんつって。

長い笑い声。

洗濯女 やっぱり帰る。

洗濯女、コップの水を持つ。

洗濯女 お姉ちゃん！

洗濯女 帰るケロ帰るケロ。カエルが鳴くから帰るケロ。カエルがもうダメ吐きそう
ゲロゲーロ。

笑い声。

洗濯女 自分を変えるんでしょ？家に帰ることが自分を変えることにはならないよ。

金女 お金じゃ買えないものがある。帰る者はお金を払って下さい。(椅子の上
立つ)

笑い声。

洗濯女 お金なら、あるわ。

金女 かつこいい……ここで一句。かつこいい、分けてください、お金をね。

洗濯女 無理。

金女 無理と言われて天橋立。

笑い声。

洗濯女 お姉ちゃん、いいの？本当にいいの？それでいいんですか、お姉ちゃん。

洗濯女 優しくするな。

笑い声。

飴女 え？

洗濯女 謳うな。たかるな。

笑い声。

金女 え？

洗濯女 見くびるな。なめるな。バカにするな。(笑い声) 見るな。見るな。目玉で見るな。(笑い声) 感じるな。吸うな。吐くな。ちよつと休むな。(笑い声) 試みるな。心を見るな。見なくていい。私なんて見なくていい。(笑い声) どうせ、また間違うのよ。きつと、間違つて産まれて。間違つて産んで、間違つて産まれた間違つた子がまた間違つて。(長い笑い声) 間違いきちがいの住む町がいい？そんな町私はいやだ。だからここで待ちたくない。

飴女 ；間違つた子つて。まだわかんないでしょ。

洗濯女 わかつてるわよ。むしろ何でわかるの？現代医療の申し子め！私の気分をダウンさせることしか考えてないのか！知恵め！知識め！知め！知め！

洗濯女 じゃあどうするのよ。

洗濯女 わかんないわよ。

金女 私どうしたら？

洗濯女 マジわかんないつすよ。受付、キャンセルしてください。

飴女 ちよつとお姉ちゃん。

金女 あの、受付はいいんですけど、私の借金はどうしたらいいんでしょうか？

洗濯女 はあ？知らないわよ。金金金金、何だそれ。保険適用外？何だそれ。私は間違っているけど、お前とかお前の住む社会とかの方がより完全に比類なく間違つてんだよ。この屑頭ポパー女。

金女 ポパー！ひどい。ひどい。ポパー！。(しゃがむ)

洗濯女 泣いて終わりか。そしたら借金返せるのか。私は小学生のときからどこにも遊びに行かずに子供貯金とお年玉をため続けてきたのよ。短大卒業して会社入ってからもずっと付き合ひもせず、コツコツため続けてきたのよ。その私に金を貸せ？ふざけんな！まず136万とこないだの飲み代2700円返せ！

金女 ひどいー人類みな兄弟でしょ。イエス！キリストクリニク！

洗濯女 不器用な仏教徒ですから…。

飴女 仏教徒でもないし、キリスト教でもケンさんでもないでしょ。

洗濯女 あんたもよ。もう一人にさせてよ。私が掃除も料理も洗濯も何もできないのはあんたのせいだと今ここに至っては確信している。だって全部あんたがやってんじゃない。私できないじゃん。修行の場も与えられてないじゃん。だって家賃払ってないじゃん。

洗濯女 医療費とバカみたいな携帯代とホテル代と駄菓子代じゃん。駄菓子食うなじ

やん。牛乳飲め牛乳！モー！ジャン！

飴女 あああつ、鬱の具合が。さしこみが。(倒れる)

洗濯女 妹よ、私はお前の屍を越えていく。このままここに居てはダメだ。無駄だ。ダムだ。決定的にダムだ。知らん間に私に張られた結界を決壊させる。そして新たな道に生きたい。生きたいんですよー！

洗濯女、コップの水を飲む。ペットボトルに入っている水をコップに注ぎ足し、飲む。

飴女・金女 でも、その正しい選択をした道すらも、間違っている。

水がなくなる。

洗濯女 ……どーしたらいいのかしらー！

3人、その場を動けない。飴女、立ち上がれない。金女、土下座している。洗濯女、どの一歩を踏み出していいかもわからない。洗濯女、二人の姿を見る。音楽が流れる。

立ち上がろうとして立ち上がれない。進もうとして動けない。

3人、じよじよに舞台奥におびえながら下がっていき、寄り添う。
3人、小声で。

金女 次の方ーどうぞー。次の方ーどうぞー。

飴女 ねえ時間だけが先に進んでくよ。

金女 もう寝た？

飴女 大丈夫。

洗濯女 その言葉も間違っているとなぜ気付かなかったのか。

金女 次の方ー。次の方、出てこいつつってんだろ！

飴女 言葉が？間違ってる？

洗濯女 言葉を生みだす者が間違っているのになぜ言葉が正しいと言えようか。

飴女 ♪言葉にーできなーいー！

洗濯女 何が正しい？感覚？感情？

金女 好きな人、いる？

洗濯女 好きな人はこちらサイドが好きだとしても、あちらサイドが好きではないということもあるのだ。

飴女 ♪ハッピーバースデー他人ーハッピーウエディングー他人…

金女 先生来た！そちらサイドから先生来た！

洗濯女 息をひそめて生きているのではなくて、息をひそめるしか生きていけないのです。まあ当たり前ですが。冗談です。

飴女 ふとんにくるまれて、息が苦しい。息が。

洗濯女 つらい。

飴女 男は。

洗濯女 つらいのよ。

飴女 男は。

洗濯女 狼少年？

金女 おお神よ！あなたはなぜ間違わないのですか？

飴女 狼よ！こっちこっち、すみませーん。

金女 おお神よ！神の子、ロックで！

飴女 酒かよ。

洗濯女 叫ぶな。先生来るって。先生が来たら私は。

飴女 迫っている。

金女 どうしようもないくらいに精神的時間が迫っている。

飴女 どうするの？

金女 どうしたらいいの？

洗濯女 先生が本当に本当に先生が、来たぞー！

音楽が止まる。3人、ゆっくりと立ち上がり非常にゆっくりといろいろな感情でツラに向かつて歩き始める。再び音楽が流れる。

飴女 進むの？

洗濯女 進むしかない。

金女 間違っているのよ？

飴女 その道も。

洗濯女 進むしかない。

金女 どちらにしろ、間違っているのね。

洗濯女 そんな悲しい言いかたじゃなくて。

飴女 どういうこと？

洗濯女

寛容になるのよ。

金女

間違っていることに。

洗濯女

寛容に、なるのよ。

飴女

私は、間違っている。

金女

私も、間違っている。

洗濯女

こんな暗くて黒いヒダヒダの中で待っている。

金女・飴女

私たちは間違っている。

洗濯女

たとえ魔太郎でも妖怪人間でもダム人間であっても。

飴女

現実でも仮想現実でも四六時中よだれを流していたとしても。

金女

下げた頭が地中にのめり込み、マントルを突き破って宇宙まで届くほどの土

下座をせざるを得ないとしても。

洗濯女

私には選ぶことができない。私は選択ができない。

飴女

でもそれは悲しいことではなくて。

金女

みんなが普通に土下座していれば、土下座していない納得より、より納得で

きる。

洗濯女

そうです。みんな一緒なんです結局。当たり前ですが。

金女

神の子、ロックで！こうして叫んでいることも。

飴女

股からよだれを流し続けている行為で私たちは息をしている日常。

金女

間違った日常。

3人

間違っている！日常が！普遍的に間違っている！

洗濯女

私も、間違っている。認めるべきだ。社会よ！ブランニュー私！

3人

本来は誰しもが！どうせ私たちはとかではなく！だからこれは人間的な、非

常に私たちのな！認識なのだ！ブランニュー私！ブランニュー私！ブランニ

ュー私！ブランニュー！…

音楽が止まる。

洗濯女

…行ってきます。

爆音が響く。洗濯女、トイレに行く。トイレに入る瞬間、音楽が止まる。パタンと言

う音が聞こえる。トイレからは何も音が聞こえてこない。心配そうに見守る二人。

間。

洗濯女、トイレから出てくる。その場で。

洗濯女

おぎゃあ！…晴れている。こんなにも晴れている。晴れているのに。…待っています。私は、私たちは待っています。

洗濯女、空をあおぐ。

飴女 …お姉ちゃん。

洗濯女 供述します。私のあだ名。教室のくさい雨漏り、略してクサノモリ子でした。文集、クサノモリ子の隣には私の好きだった草野君がいて、ずっと嫌がられていました。悪意丸出しの並び位置。実はおもらしのことなんてどうでもよくて、草野くんは「クサノとは永久に他人です(笑)」って書かれてたのがなんか変に痛くて痛くて。それが嫌で文集のことはひた隠しにして。だから「私の将来」のところに、

金女 「私は大きくなったらもう同じ過ちは犯しません」

洗濯女 うん、そう書きました。

飴女 うん。

洗濯女 まあそれだけのことです。それだけ。それだけ。

金女 あ、そうだったの？それ、私、編集委員。テキストに並べてたんだけど。

洗濯女 あ、そう。

金女 うん。

洗濯女 うん。

金女 うん。

洗濯女 うん。

金女 うん？

洗濯女 うん！？

金女 うん…。

洗濯女 …うん。

3人、笑いだす。豪雨の音。溶暗。

音楽が流れる。

おわり